

Rotary

イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝郎 幹 事 塚越 淳史 会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2986号 2023年1月31日(晴れ) 第28回例会 会員数110名

ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝郎 会長
司 会 副SAA山下会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ クリームコロッケサラダ添え 煮物
海鮮塩炒め 汁 御飯 デザート

ビジター紹介

細谷副会長

◇来訪ロータリアン

2名(2クラブ) 累計26,610名

卓話講師 RI第2550地区職業奉仕委員長
片柳 均様(栃木南RC)RI第2550地区職業奉仕委員 亀山弘晃様
(鹿沼東RC)

会長挨拶

加藤 勝郎 会長

皆さん、こんにちは。職業奉仕がロータリーの礎石であり根本概念だと言われています。ロータリーが100年以上存続できたのは職業奉仕の理念が一貫して守られていたからだ、という意見があります。ロータリーがこれから100年存続するためには職業奉仕の古い思想から脱却しなければならない、という意見もあります。職業奉仕の理想のもとに一業種一会員制や職業分類がありました。現在では業種別の会員数制限が無くなり、以前では考えられない職業分類もあります。いずれにせよ、職業奉仕を考えることはロータリーを知る第一歩です。本日の卓話、片柳様より申し上げます。

◇松山 栄会員からご挨拶

昨年12月に妻が旅立ち、四十九日の法要が無事に終わりました。妻の生前の遺志により葬儀は事

後報告になりました。今後とも今まで以上に、お付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。

◇(R) 米山記念奨学会より表彰

<米山功労者>

マルチプル 辻 裕司会員(7回目)



幹事報告

塚越 淳史 幹事

◇米山記念奨学会から第22回米山功労クラブの感謝状届く。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会

佐々木(貞) 副委員長

松山 栄会員

肅正を終え本日より例会に参加しますのでよろしくお願い致します。

「3分間スピーチ」



杉本充彦会員

皆さま、こんにちは。昨年1月に入会した「すぎもと みちひこ」と申します。現在41歳で、仕事は司法書士業を営み、約7年前にJR岡本駅前に今の事務所を構えました。(株)セゾンハウジングの金子さんのご紹介で入会させていただきました。あっという間の1年であったという印象です。入会当初は今のように入会を囲んで食事が出来る状

況ではなく、完全 Zoom という時期もございましたが、こうして、ロータリークラブ本来の活動が出来ることは大変喜ばしいことです。

入会して特に印象に残っていることは、今年の暑気払いと忘年会です。親睦委員としてマジシャンの先生とバイオリン漫談の先生のアテンド係を仰せつかりまして、それが印象に残っています。

また、ロータリアンの方がけっこう周りにいらっしゃることも知りました。「最近ロータリークラブに入った」と知人に話すと、知人も他のロータリークラブに所属しているとわかることが度々ありました。ロータリーという共通の話題で盛り上がるのが嬉しいと感じているところです。

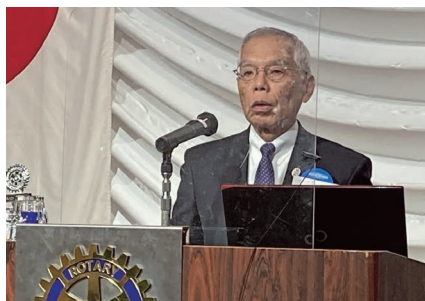
入会して一番変わったことを考えてみました。日本酒を飲む機会が格段に増えました。私は、お酒はいたって弱く苦手で、特に日本酒はひどい二日酔いで失敗したトラウマがあり、敬遠していました。宇都宮東ロータリークラブの要所要所の集まりでは、必ずといっていいほど日本酒をご用意していただいているので、随分と日本酒に慣れた気がしております。それが一番の収穫かもしれません。今後ともよろしくお願い致します。

※次回3分間スピーチは渡辺純一会員



地区ロータリー財団卓話

「職業奉仕について」



R I 第2550地区職業奉仕委員会
委員長 片柳 均様

本日は、よろしくお願ひ致します。昨年度の『ロータリーの友』のガイ散策シリーズは鈴木一作氏によるもので、ガイ・ガンディカー (Guy Gundaker) の『ロータリー通解』をわかりやすく解説したコラム集でした。その鈴木一作氏を今年度の職業奉仕研究セミナーの講師としてお呼びし、8月21日にベルヴィ宇都宮にて講演を行うことができました。今回はその講演のご報告をしたいと思います。皆様にお配りした資料は講演レジュメです。

- パワーポイントにて説明 -

はじまりのテーマが「今こそ大切なGuy Gundakerのロータリー観」でサブテーマが「ロータリーの再整理・再構築を！」です。第一

部のテーマは「What is Rotary?」で第二部のテーマは「21世紀の職業奉仕」でした。本日は「What is Rotary?」のご案内で進めたいと思います。

まず、ガイ・ガンディカーのロータリー観から考えます。ガイ・ガンディカーは、「社会奉仕に関する1923年の声明(決議23-34)」の採決時はR I 会長エレクトで、同決議には『A Talking Knowledge of Rotary』即ち『ロータリー通解』の内容が色濃く反映されていると『ロータリーの友』2021年7月号にありました。『ロータリー通解』は当時のロータリー観の一般奉仕概念やクラブ運営の在り方やロータリアンの義務を体系化したもので、史上初めてのロータリーの解説書と言われており、ロータリーは親睦と学びと成長と奉仕に邁進しようという考え方でした。日本での『ロータリー通解』の解説本は幾つかあり、「源流会」会長の田中毅氏の本、ロータリー文庫でダウンロードできる小堀憲助氏の本、そして鈴木一作氏の本等です。

次に「ロータリークラブの姿」です。ロータリークラブの姿としては①ロータリアンの人間性の向上②ロータリアンの事業の向上③ロータリアンの業界全体の向上④ロータリアンの家庭、町、州、国ならびに社会全体の向上で、ロータリークラブの例会はこれらの向上 (Betterment) のための「親睦と学びの場」であり、究極の目的は「素晴らしい真のロータリアン」の育成であるとしています。「入りて睦み学び成長し、出でて向上発展に努めよ」という言葉がありました。それによって「素晴らしい真のロータリアン」が増えれば世の中は良くなると思ったそうです。

次は「ロータリアンの活動」です。素晴らしい真のロータリアンを育てる活動として次の4種類があります。

1. ロータリークラブでの活動

ロータリークラブでの活動はクラブ会員としての務めであり、まず例会出席があります。そこには親睦と学びがあります。例会では①会員同士が交流し、経験や意見を語り合い、誠実な人柄に触れ、敬愛の念を互いに深め合うこと②会員の事業、生活、生き方に有益な情報や方法を提供し合うこと③奉仕の心を学び、理解し、実践の意欲を高め合うこととあります。先程の3分間スピーチはよかったですと思います。例会は魅力的で価値のある場です。そこに生まれるのは、敬愛、信頼、経営のヒント、職業観、人生観、ロータリー観、奉仕の意欲、喜び、満足感、誇り、飛躍の機会等ではないでしょうか。1914年、フィラデルフィアRCでのGuy Gundakerの会長就任挨拶に「会員の皆様、先ず新旧の会員が心から打ち解けた親密な関係を

作り、ロータリーの精神と理念を語り合い、互いの融和と成長を心がけましょう。」とあります。

2. 個人としての活動

ロータリーが説く高い「倫理基準」と「奉仕理念」を自分の事業で実践することです。一日の大部分は仕事に従事しており、個人としての活動イコール仕事です。ロータリアンにとって「仕事」は日常であり、宿命です。

3. 業界における活動

ロータリアンは、ロータリークラブから各々の業界に派遣された代表者、大使とも言えます。ロータリアンとしての業界代表の務め、即ち、他の同業者に働きかけながら、職業倫理と奉仕の普及に努め、業界全体を向上発展させていく義務があると表現しています。現代においても重要なことで、例えば、ガバナンス、コンプライアンス、リスクマネジメント、CSR等があるとのことです。

4. 地域社会における活動

公共的な慈善団体や地域において、積極的に価値ある貢献をすること。それはロータリアンとしての地域住民の努めであり、家族愛を実業の世界だけでなく、町、州、国へと及ぼし広げていくこと。即ち、良き家庭人たれ、良き事業人たれ、良き市民たれ、が地域社会における活動ではないかということなのです。

以上のような4つの活動は、ロータリアンとしてのクラブ会員の務め、職業上の務め、業界代表の務め、地域住民の務めであり、これらすべての務めを果たす「証」がロータリーバッジであり、いつでもどこでもロータリアンということなのです。

次はロータリーの親睦 (fellowship) についてです。『ロータリーの友』の2022年版1月号のガイ散策に「ロータリーの親睦」というコラムがありました。右上の写真の木は、宇都宮グランドホテルにポール・ハリス生誕150周年記念樹として植樹されたもので、先頃、栃木RCの川嶋幸雄バスターガバナーのご提案により栃木市の駅前公園に移転植樹されたものです。写真の小書きには「1935年、ロータリーの創設者ポール・ハリスが来日した際に、東京の帝国ホテルに植えた月桂樹の4代目(宇都宮北RC・田村吉幸さんが育成)。初代は枯死してしまいましたが、日本のロータリアンの努力により各地で挿し木が行われ、全国に根を広げています。同様に、滋養に満ちた親睦は、ロータリーという苗木を成長させ、未来へと物語を紡ぎます。」と説明がありました。ロータリーの親睦とは、ロータリーという苗木が成長する為に、その根に栄養を与える土壤であるということから、ロータリーの親睦の目的は、ロータリーの成長・発展 (GROW ROTRY) であり

ます。親睦なくしてロータリーの成長・発展はない、親睦は非常に重要である、ということから、fellowshipの正しい意味を考えてみようということです。fellowshipは「親睦」と和訳されていますが、日本語の親睦とは、懇親、友情を表すので、friendshipと解釈されます。また、acquaintanceという言葉がありますが、これは「知り合い程度の交友」となります。friendshipは親しいもの同士の友情であり、目的や理念には関係なく、親しい友人の間柄で使われる言葉とし、fellowshipは志が同じ者同士の仲間意識ではないか、即ち、チームや組織、団体など、目的や理念が同じ者同士の間柄で使われる言葉と解釈します。現在のロータリーの目的 第1項目には、The development of acquaintance as an opportunity for service; (知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること;) とあります。これは、互いの交友を深め合いながらロータリーの志を共にする仲間になることによって、奉仕の機会に繋げることはないかの説明でした。

次に、ロータリーの奉仕です。ロータリー初代事務総長のチェスリー・レイノルズ・ペリーが提案した奉仕とは、思いやりと助力であると解しましたが、当時同時代のガイ・ガンディカーは個人、事業、業界、社会の向上 (betterment) であり、改善であり、発展成長であるとししました。それは義務、責務、務め、使命であると表現しています。素晴らしい真のロータリアンにとって、事業、業界、社会に向上発展をもたらす活動は「義務」である。義務は「使命 (命の使い方)」であるということなのです。

「What is Rotary?」の最後はロータリーの目的です。ロータリアン、ロータリークラブ、ガバナー、RI理事会には共通の目的が明記されています。

『ロータリーの友』に毎月提示してある「ロータリーの目的」です。そこには、奉仕の理念を奨励し、これを育むこととあり、具体的に奨励する4項目があります。第1の項目はロータリアンの出会いの場において、クラブ会員との親睦、他クラブ会員との出会い、親睦を通じて奉仕の理念に満ちた心を磨き、醸成することで、第2項目は、それらを通じて、ロータリー精神と職業倫理の昂揚に励み、立派なロータリアンになる、そして、第3、第4の項目は、「個人生活、事業生活で社会生活、さらには国際社会の中で奉仕の理念を適用する」その適用する場に応じて、職業奉仕だったり、社会奉仕だったり、国際奉仕だったりします。

結論として、ロータリーは、①親睦と学びを基盤に②立派なロータリアンを育てながら③価値あ

る奉仕を通じて社会に貢献する世界的な団体である、即ち、ロータリーは親睦と学びと成長があり、奉仕が生まれる。第一部をまとめると、ロータリーの目的を達成するには、様々な分野の委員会でロータリアンの木を育てるため、親睦と学び、成長、奉仕が必要ではないか、ということでした。

今回の鈴木一作氏による職業奉仕研究セミナーは、ガイ・ガンディカーの解説書が古い時代に作られたものでありながら、現代にも当てはまる運営方法を案内してくれたと考えます。即ち「如何にロータリーを楽しむか」ということかと思われまます。その表現が第二部の最終のページにありましたのでご紹介します。

なぜ私達はロータリーが好きなのか？

なぜ、私達はロータリーを退会しないのか？

ロータリアンの重み、喜び、魅力、誇りとは？
本来なら出会えない異業種の会員が、ロータリーの志を共にする仲間となって睦み集う「親睦の喜び」、仕事やロータリアンとしての在り方を「学ぶ喜び」、あらゆる機会に社会に貢献する「奉仕の喜び」、それらを楽しいと思う少年少女のような「純真さ」、自らを「我、道義の職業人たらん」と律し、自らを多少なりとも立派な人間であると思う「自尊心」、そして成功や飛躍の「チャンス」、素晴らしい「感動」があります。ロータリーは人生を豊かにする!Enjoy Rotary、です。